

愛 ゆく！ 第2話 「忙しい？」

— 県議体験記 —

最近誰かと会うとほぼ必ず「忙しいでしょ？」と尋ねられます。その度に「はい」と答えています、何度も尋ねられるとだんだん分からなくなってきて、果たして私はどれくらい忙しいのか？と考えたりしています。下の日誌を見て、みなさんどう思われますか？ これ以外にも誰かの相談を受けたり、県庁の担当課の方にお話を聞いたり、資料や本を読んだりしているので、やっていることは多岐にわたりますが、すべて自分で決めて調整できる分、バランスは取りやすいです。自由であると同時にその責任も自分にあるので、常に何かを背負っているよう



「3・11への祈り」脱原発ウォーク、今年も歩きました
な大変さがありますし、横田さんがそばにいたらアレコレ聞けるのにな…と思うこともしばしば。でも、いろんな人に出会い、学べることに感謝して、ありがたく「忙しく」なろうと思います。



おおつかあい・プロフィール
1974年1月10日生まれ。旭操小学校、操南中学校、岡山朝日高校、岡山大学教育学部卒業。99年より福島県で農業研修。4年間の大工修業の後、自宅を建て、大工として働く。2011年3月福島原発事故により一家で岡山に避難。5月「子ども未来・愛ネットワーク」を立ち上げ、避難移住者のサポートや福島の子どもの保護受け入れなどを行う。北区建部町に夫、3人の子どもと暮らす。

大塚愛 いっぱ通信

岡山県議会議員
大塚愛 県政レポート【第2号】
発行：2017年5月（2017年2月議会報告）
—
最新情報を発信しています
Facebook:
・みどり岡山
www.facebook.com/greenokayama
・大塚愛
www.facebook.com/ohtsuka.ai.3
●みどり岡山ホームページ:
http://midori-okayama.org

【事務所】
〒700-0971
岡山市北区野田5-8-11
Tel:086-244-7721
Fax:086-244-7724
e-mail:info@midori-okayama.org
http://midori-okayama.org/
【自宅】
〒709-3122
岡山市北区建部町吉田321
携帯:070-5056-3808
e-mail:ai@midori-okayama.org



ーんには。県議会議員
ーとなって半年となりまし
た大塚愛です。
久しぶりに会う人たちから、
「ちゃんとニコニコしていて安心した」と言われます。「県議会という別世界に行って、元気に生きているかな？ 子ども達は大丈夫かな？」と心配してくれた人も多いことを知り、ありがたい気持ちです。議員としての務めと子育ての両立



2月10日、憲法カフェで榎大樹さん対談@ぜろどーなつ

お お つ か あ い 大塚愛

【第2号】
県政レポート（2017年5月発行）
Ohtsuka Ai “IPPO ♥ TSUSHIN” [no.002] 2017.5

いっぱ通信

P.02-03 平成29年2月定例会一般質問
P.01 よりよい一歩をもとめて頑張っている人たちと共に
P.03 おもな活動記録から（2017年2月～4月）／ちょっとお知らせ
P.04 愛ちゃんがゆく！— 県議体験記 —／日々のうごき（2017年1月～4月）

日々のうごき 2017年1月～4月			
1.18 財政勉強会（高砂市議井奥雅樹さん）	2.7 予算総括協議会、会派代表質問読みあわせ	3.12 「3・11への祈り」共催 脱原発ウォークと追悼	
1.19 みんなの集落研究所のお話、チームi会議	2.9 子ども未来・愛ネットワーク会議、知事との会派折衝	3.14 常任委員会、DV防止サポートシステムにつなぐ会	
1.20 原発災害の講演@備前市西鶴山小学校、県政おはなし会@建部町吉田	2.10 憲法カフェ&対談（榎大樹弁護士）	3.15 絵図町の懇談会、県営グランドサッカーあそび見学	
1.22 御津町新庄原区総会	2.13 横井上の空き家見学、高井たかしさんと美男美女の会参加	3.16 竹枝小学校卒業式	
1.23 予算協議会会派読みあわせ	2.16 特別委員会、岡山県入居支援協議会に出席	3.19 建部町里山まつりにフラ出演参加	
1.24 福島原発おかやま訴訟第8回期日	2.17 みんなで支える地域づくり公開講座@美作市	3.21 鏡野町議選吉津さん出陣式	
1.25 常任委員会（土木委員会）、県営グランドひょうたん池報告会	2.18 田中彦彦先生に再会、西大寺会陽		
1.26 特別委員会（地域振興・防災・環境対策特別委員会）		3.22 安保法制違憲訴訟第2回期日傍聴	
1.27 入居支援センター&フォレストハウスおかやまのお話	2.19 岡山県教育センター式典、御津連合町内会総会、チャリティーコンサート出演	3.23 放射能汚染防止法の勉強	
1.28 議会報告のついで@岡西公民館	2.20 常任委員会、YMCAファミリーホーム訪問	3.25 吉備のびのび小学校&希望中学校卒業式、岡山市操車場跡地公園づくり@くらしのたね	
1.29 建部里山シイタケ原木運び手伝い	2.21 「ぐるーん」河本さんのお話、子どもシェルターモモ訪問	3.25 第11回春休み保養プラン 福島県～4.1	
1.30 県政おはなし会@建部町公民館	2.23 春休み保養プラン準備会、移住フォーラム@吉備中央町	4.3 DIY型賃貸借契約の勉強	
	2.24 2月議会代表質問	4.6 岡山県宅建協会	
1.31 竹枝小学校参観日&PTA役員会	2.25 だっぴ@吉備中学校、市民オンブズマン勉強会	4.7 次女&私風邪ひき休み	
2.1 国際芸術交流（天神山プラザ利用）への意見書提出の立ち合い	2.26 県労御津支部総会、原発災害の講演@山口県	4.11 建部中学校入学式	
2.2 常任委員会、女性県議の会で成徳学園視察	2.27 玉野市の黒田市長と面会（保養協力）	4.14 常任委員会、避難者交流会、あったかファミリー運動のお話	
2.3 吉備中央町「うりぼうクラブ」施設見学、ちえのわ不動産のお話、	2.28 2月議会一般質問（～3月8日）	4.15 3・11おかやまネット定例会、御津産廃講演会「職権取消と行政手続」	
2.4 人権問題研究会分科会（長野エドウィンさん他）	3.1 一般質問原稿が完成、エレフェス	4.16 建部町吉田区総会、土師方区総会	
2.5 御津町河内・母谷地区総会	3.3 一般質問（2度目の登壇）	4.19 子育て座談会@くらしのたね、建部町酪農組合総会	
2.6 幸福度勉強会（坂本正先生）、いっぱ通信プラス収録	3.6 タネビリカ新聞打ち合わせ		
	3.10 ほっと岡山報告会、建部給食委員会		
	3.11 東日本大震災6周年RNN慰霊祭に参列@神道山		

か、共に考え
させてもらっ
ています。
2月議会では、2度目の
一般質問を
しました。今
回もがんばっ
て臨みました
が、傍聴や中継で聞いて感想
を届けてくださる方や、「よ
かったよ!」と言ってくくださる議
員さんもいて嬉しかったです。
質問したテーマの今後を見
守りつつ、次に向けて勉強し
ていきたいと思います。

3月4月は、卒業式や入学式
もありました。初めて議員とし
て出席した卒業式は、なんと
息子たちがお世話になっていた
小学校で、とてもとても緊張
しました。その日は震災から6
周年を迎えたばかりだったの



初回よりちょっとだけ落ち着いて2度目の登壇

で、挨拶では私たちが震災から学んだメッセージ、「人はそこに生きているだけで、まわりのたくさんの人を生かしているということ、みんな独りぼっちではないこと」などをお伝えしました。何日も前から考えた挨拶でしたが、終わった後にある男の子が「感動した。」と言ってくれたので、「ああよかった。私も心をこめて話したよ。中学がんばってね」と話しました。（卒業式の挨拶はFacebookで公開しています）

2度目の
登壇!!

岡山県議会 平成29年2月定例会一般質問 〈2017年3月3日登壇〉

Q ひとり親家庭の支援

ひとり親で育児をしながらの生活は、時間的・心理的な余裕が少なく、一人で悩みを抱えている方も多くいます。そのような方に支援情報を届ける手段が必要で、多岐に渡る情報を一つにまとめて届けることも大切です。

昨年、「シングルマザー365日サポートブック」という本が出版されました。この本には悩みやニーズに対応したさまざまな情報が載っています。また、東京都では、「ひとり親家庭サポートガイド」を作成して、HPでもその内容が見られるようになっています。

岡山県の「はぐくま〜れ」（結婚から子育てまでの情報サイト）への、ひとり親家庭向けの情報の拡充やパンフレット作成を検討して



NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーむ編著

はいかがですか？ また、ひとり親家庭支援センターやウィズセンターなどの相談機関や、市町村との連携はどのようになっていますか？

A [保健福祉部長の答弁] ◎サイトの内容を充実させ、パンフレットについては東京都の例も参考にして研究していきます。
[知事の答弁] ◎市町村職員の研修会や相談機関の連絡会を通じて情報交換を図っています。今後とも、きめ細かい支援に努めていきます。

Q 社会的養護からの自立に向けた支援



アフターフォローを行っている食事会@子どもシェルターモモ

児 童養護施設で育つ子ども達には、親の貧困や虐待の経験を抱えている場合も多く、社会に出るための自立には、想像以上に多くの困難を抱えることになります。このような子ども達が再生していくためには、他者への信頼感や自尊感情を回復していくことや、社会で自立していくための生活習慣や、仕事への意欲や根気を育ていくことが必要です。

県で始めるアフターケア事業の具体的な内容と今後の展望についてお聞かせください。

また、週末でもできるボランティアとしての一時里親制度をより積極的に周知してはいかがですか？ 子どもの貧困に関連した協働ネットワークづくり事業(29年度)ともあわせて、連携を検討していったはいかがですか？

A [保健福祉部長の答弁] ◎県内養護施設に周知し、より多くの子どもが確実に社会的自立を果たせるように支援していきたい。

◎引き続き里親制度の普及啓発に努め、子どもの貧困への支援においても連携を働きかけていきたい。

Q 地域包括ケアシステムの構築に向けた、住民の互助の取り組み

高 齢化がいち早く進む中山間地域では、時代の最先端の課題に向き合うことが求められていますが、地域のニーズに対して住民が主体的な取り組みを進めていくことはとても重要です。今後たとえ人口を増やすことは難しくても、地域に住む人たちが助け合い、人と人のつながりを増やしていくことができれば、地域の力を保っているのではないかと思います。

地域包括ケアシステムにおける住民互助の取り組みを進めていくためには、県や市町村が今後の地域づくりのビジョンをしっかりと持ちながら進めていくことが重要です。



知事の答弁、右下の椅子に座って聞きます

また、公開講座や市町村との連携を通して、新たに地域活動を始める人たちをサポートしていくことや、「福祉有償運送」や「公共交通空白地有償運送」の普及促進を進めていくことも必要ですが、知事のお考えをお聞かせください。

A [知事の答弁] ◎公開講座などによる啓発やNPOの立ち上げ支援などを通じて、住民互助のもと住み慣れた地域で安心して生活できる社会が実現できるよう、市町村の取り組みを支援していきます。

Q 幸福度指標(心の豊かさ)について

ブ ータン国王の来訪では、経済成長だけでは測れない豊かさとして、心の豊かさや生き方の質が見直されるきっかけとなりました。東京都荒川区では研究を進め、2012年にGAHと呼ばれる荒川区総幸福度指標を作りました。また、熊本県でも県民総幸福量(AKH)が導入され、地域によって豊かさの基準が異なる多様性や、経済だけでは測れない豊かさを知る手立てとなっています。このような幸福実感向上を目指す自治体連合「幸セリーグ」には、現在99の自治体が加盟しています。

幸福実感や主観的指標は、「漠然として掴みどころがないもの」かもしれませんが、「人がいかに生きるか」に直結したテーマであり、行政の仕事が客観指標の向上を目指

す先には、つねに住民の幸福実感向上があるのだと思います。

県民満足度調査においても、岡山県に暮らすひとりひとりの住民目線により近い視点で行うことを目指し、県民や地域の実像をしっかりと捉えて、経済的な豊かさのみにとらわれることなく、心の豊かさにもしっかり焦点を当てて政策を進めていくことを望みます

が、知事のご所見をお聞かせください。

A [知事の答弁] 28年度新たに「暮らしやすさ」の設問を設け、多様な観点から県政の目標達成状況の把握に努めてきました。設問の表現をより分かりやすい内容とするなど、県民の生活実感を反映した政策の推進に取り組んでいきたい。

一般質問ってなんですか？

議員個人による県政全般に対する質問。答弁するのは知事や部局長などで、事前の通告を受けて答弁が用意されますが、再質問についてはその場で答えられます。まとめて質問する「一括方式」と「一問一答方式」(H24年に導入)があり、いずれも持ち時間は25分。議員は日頃の問題意識や相談からテーマを選び、調査を進め、課題の提示や政策の提案により行政の在り方を質します。1回の質問で成果が見えることは少ないようですが、県執行部



や議会に対して問題意識を公にできる機会として重要。質問した内容については、議会以外の場でも担当課とのやり取りや委員会などを通して、進行状況の確認や提案をします。岡山県議会では議員数に応じて会派ごとに回数が決められており、私の会派(民主・県民)の場合は、代表質問を含め1人あたり年2回。

おもな「活動記録」から 〈2017年2月～4月〉

2017春休み岡山保養プラン

@子ども未来・愛ネットワーク

2017年3月25日～4月1日

3・11の震災後に始めた保養プランも今回で11回目。福島県に住む9組

31名の親子さんを迎えて、玉野市渋川で8日間を過ごしました。「原発事故に



より安心して外遊びができなくなった」、「福島では復興の名のもとに、放射能汚染の悩みや不安の声を出しにくい空気がある」。そんなお母さん達の心に寄り添いながら、子ども達に笑顔でしっかり遊べる春休みをプレゼントすることができました。ボランティアやカンパなどのご協力にも感謝しています。参加した子どもの一人は、アンケートで「Q:困ったことはありましたか?」「A:楽しすぎた」と答えてくれました。原発事故は決して遠くの出来事ではありません。これからも福島に元気を届けたいと思います。

ちょっとお知らせ

「みどり岡山」のHPをチェック!



◎「県政おしゃべりカフェ+大塚愛」を定期的に開催予定。(5月より月に一度、いろんなカフェなどで)

◎電力会社の人達との「争わない座談会」を企画中。